

31日間で小冊子を書いて現金化トレーニング
10日目 - あなたの小冊子をパッケージングする方法 -
Part 2

重要なお知らせ

あなたがこのトレーニングコースを自己利用する以外、あなたにはいかなる権利もありません。あなたはこのレポートを無料配布・有償販売・会員制倶楽部への追加など一切できません。ありがとうございました。

あなたが31日間で小冊子を書いて現金化トレーニングを CONTENTS LAB メンバーエリア以外からダウンロードした場合、それは海賊版です。

31日間で小冊子を書いて現金化トレーニングは小林正寿とbrainers 有限会社の著作物として全世界的に保護された出版物です。

ALL RIGHTS RESERVED. 電子的、機械的、カメラによる複写、読み上げでの録音などいかなる形式をもってこのレポートの一部または全部を配布することは禁止します。レポートのコンテンツの引用をご希望の場合は書面で著者に対して許諾を得てください。

免責事項／法律に関する告示: この書籍でテーマに取り上げられた情報は出版された日付の時点での著者の見解です。著者は状況の変化に応じて、このレポートで表示した見解とは異なる新しい見解を表現する権利を有します。このレポートのテーマとして取り上げた事項に関し、適切且つ信頼に足る情報を提供することを意図して作成されていますが、いかなる誤り・不正確・不作為に対しても著者・出版元・アフィリエイト・リセラーは一切責任を負うものではありません。また、法律、その他の分野に関する専門的なアドバイスを与える事を保証するものではありません。著者・出版元・アフィリエイトパートナーは利益や特定の目的に対する適合性を保証するものではありません。このレポートの使用・適用によって生じたいかなる結果に対しても責任を負うものではありません。もし、法律、その他の分野で助けが必要な場合はその分野の専門家からサービスの提供を受けることを強く要請します。

収益に関する免責事項: 本製品はその可能性を正確に示すよう、あらゆる努力がなされています。このウェブサイトが提供する本書のテクニックとアイデアを利用して収益を上げることについては、何の保証もありません。本書またはページ内の事例は、収益を約束したり、保証したりするものではありません。収益の可能性は、本書、アイデア、およびテクニックに含まれる情報を使用する各個人に完全に依存するものです。お金持ちになれる仕組みであると明示するものではありません。実際の収益、あるいは実際の結果の例を生み出す権利は、要求に応じて確認することができます。サイトで主張している結果の獲得における成功のレベルは、記載したアイデアやテクニックに費やした時間、あなたの財政状態、知識、およびさまざまなスキルによって異なってきます。これらの要因は個人によって異なるため、成功、つまり収益のレベルは保証できるものではありません。またあなたのいかなる行為についても責任を負うものではありません。本書およびウェブサイトの資料には、将来的な出来事を期待させる、もしくは予想させる前向きな文章を含んだ情報が提示されている場合があります。これらの文章は、歴史的事実もしくは現在の事実と厳密に関連していないという事実によって確認することができます。これらについては、予想する、予測する、期待する、予想する、意図する、予定する、信じるなどの言葉やその他、潜在的収益または財務実績の説明に関連した類似する言葉を使用しています。本章内もしくは我々の販売資料に記載したありとあらゆる前向きな文章は、収益の可能性についての意見を明らかにすることを意図したものです。実際の結果の判断においては多くの要因が重要であり、我々もしくは他の誰かと類似した結果を得られることには何の保証もありません。我々の資料に記載されたアイデアやテクニックからどのような結果が得られるかについては、何ら保証をするものでもありません。

目次

目次	3
あなたの小冊子をパッケージングする方法 - PART 2	4
1. 化粧	4

あなたの小冊子をパッケージングする方法 - Part 2

では、はじめましょう！

ここまで、あなたの小冊子の“コンテンツ”に関わるパッケージングを学びました。次は“化粧”について学んでいただきます。

1. 化粧

あなたの小冊子の見てくれは重要です。とても重要です。

クレヨンでの落書きとカリグラフィーの文字とでは大きな違いがあります。ここでは芸術的なスキルを追求するのではなく何等か審美的に好ましいものを用いることを強調しておきたいと思います。

あなたの小冊子に関するパッケージングの最終ステップとして外見をプロフェッショナルなものに仕上げるために注意すべき8つのエレメントについてお話させていただきます。

a.ヘッダーとフッター – あなたのコンテンツページレイアウトを“ヘッダーとフッター”からスタートします。

これらはあなたの小冊子のすべてのページ上に表示されます。（1ページ目のタイトルページには表示させないのが一般的です。）

当たり前ですが、“ヘッダー”はページの一番上、“フッター”はページの一番下に表示します。

ヒント:あなたが読んでいるこのマニュアルの一番上の右に表示されているのがヘッダー、一番下の中央に表示されているのがフッターです。

b.マージン – マージンを不自然に大きく取りあなたの小冊子のページ数が多くなるような愚は犯さないでください。

明確な数値の決まりはありませんが、あなたが見て不自然に大きいものは調整してください。

基本的には **Word** の規定値で問題ありません。ヘッダーとフッターに関しても縦幅の大きいイメージなどを使いページ数を増やすようなことも避けて下さい。

c.フォント - フォントを効果的に使うことで文字を効果的に強調させることができます。

見出し以外のコンテンツに利用するフォントサイズは **12** ポイントから **16** ポイント程度が一般的です。フォントを活用する注意点としては読者が読みにくいものは避けることです。

d.ヘッドライン – 各章はヘッドライン（見出し）ではじまります。読者が見て明確に新しい章がはじまると理解できるように本文コンテンツのフォントサイズより大きくするまたは色を変えるなどしてください。

わたしは第1見出しの次に3行を空白にすることで本文とは区分しています。

e.インデントとボックス - インデントまたはボックスを利用して重要なヒント・ブレットポイント・専門用語の定義・ケーススタディー・深く説明・推薦・事例などを掲載して本文コンテンツと区分することができます。

f.スタイル - 小冊子で一般的に利用されるデザインエレメントはフォント“スタイル”です。イタリック（斜体）・ボールド（太字）・アンダーライン（下線）の3つのスタイルは最も利用されています。

あなたの本文コンテンツで強調したいものをこれら3つのスタイルいずれかで表現することで効果的に差別化することができます。

g.色とハイライト - 文字の色を赤や青に指定することで特別な箇所を強調させることができます。

テキストの色を変更することは3つのフォントスタイル以上のインパクトがありますが、あまり使いすぎると逆に読みづらく何が重要なのか困惑する結果になるので色の利用は控えめにすることをお勧めします。

色の変更以外にテキストのハイライトがあります。一般的には黒の太字と黄色のハイライトを利用します。ハイライトに関しても色の変更と同じように使い過ぎに注意してください。

h.グラフィック・スクリーンショット・写真 - これらのエレメントを効果的に配置することで情報の知覚価値が高まりま

す。注意点としては小冊子のコンテンツと関連しているものを厳選することと、ページ数を増やす目的で大きなイメージを多用するのは逆効果になります。

言い換えれば、小冊子の情報を理解する手助けとなる場合と必要な場合にこれらエレメントを利用してください。

事例:もし、あなたがソフトウェアのチュートリアルを書いている場合、ソフトウェアのインターフェースをクリップしたスクリーンショットを配置することでインストラクションを理解する手助けとなります。

今日の宿題:昨日と今日あなたが学んだことを実践に移しあなたの小冊子を魅力的にパッケージングしてください。

次回はあなたの小冊子のプライシング（値付け）について学んでいただきます。